

「単独荷卸しに係る危険物保安監督者研修会」の開催状況について

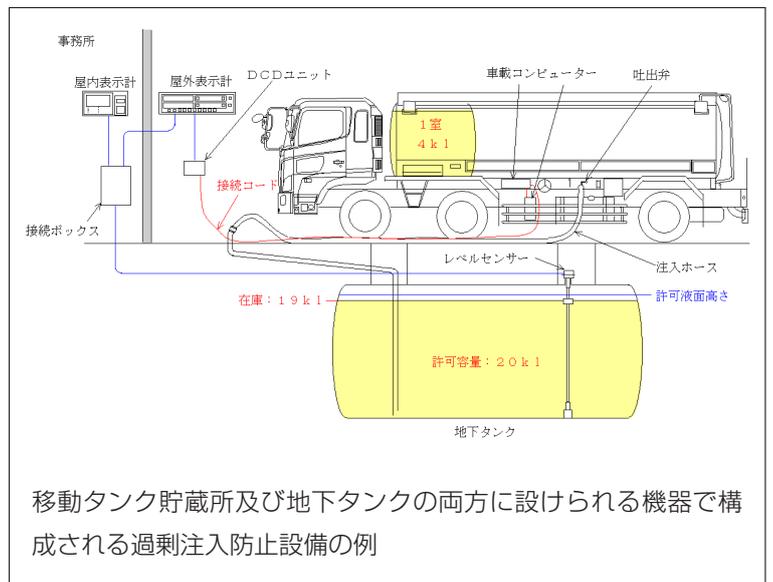
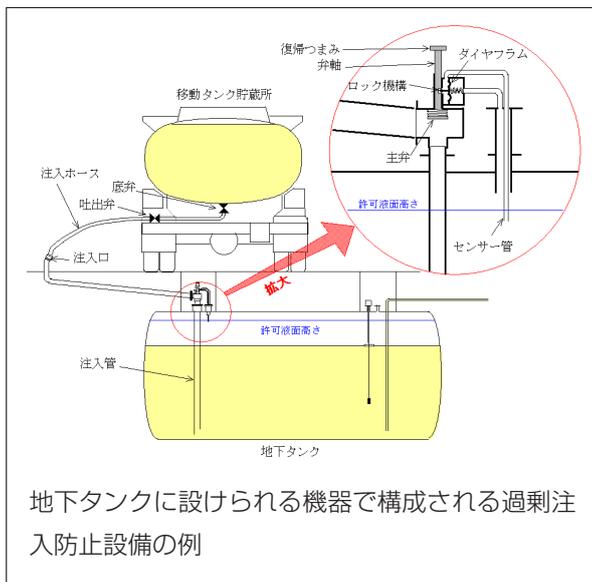
事故防止調査研修センター

協会では、単独荷卸しの作業、運行管理に係る教育担当者等を対象として、単独荷卸しに係る危険物関係法令、単独荷卸しの仕組み、単独荷卸しの作業に係る留意点、異常及び災害発生時の対応等に関する知識の習得を目的とした「単独荷卸しに係る運行管理者等研修会」を平成29年度から開催しております。

また、平成30年3月に単独荷卸しに係る運用通知が改正され、単独荷卸しに係る教育訓練の内容が充実されるとともに、運行管理者等に対する教育訓練周期を新たに設けること等が示されたことから、従前の主に単独荷卸しに係る運行管理者を対象とした研修会に加えて単独荷卸しを実施している給油取扱所等の危険物保安監督者等を対象とした「単独荷卸しに係る危険物保安監督者研修会（以下「保安監督者研修会」といいます。）」を新たに設け平成30年度から開催しております。

これらの研修会は、いずれも協会が主催する「集合研修」と開催を申し出た事業所等に講師を派遣する「出前出張研修」の二つの形態がありますが、保安監督者研修会につきましては、石油供給者が開催を申し出た出前出張研修が殆どを占めます。

このことは、石油供給者の構築した単独荷卸しの仕組みにより安全対策設備の内容（例えば過剰注入防止設備の方式：下図参照）が異なっていること及び給油取扱所における単独荷卸しへの様々な対応が異なることが主な要因であると考えられます。



このようなことから、平成30年9月以降に開催した保安監督者研修会は全て出前出張研修となっており、本年7月末現在までに16回開催し、受講者数は461名となっております。

受講された方のアンケートに記入されていた主なご意見等を以下に示します。

- 単独荷卸しが当たり前だったので仕組みがよく分かった。
- 単独荷卸しに関する法令、営業中の荷卸しなどが理解できた。
- 今まで、あまり単独荷卸しについて深く考えなかったが、危険性や事故事例などを見て深く考えるようになった。
- 立ち会い荷卸しについても改めて学習できて有効だった。
- いつもは何とも思っていなかったことが、実はとても大事なことだったと改めて気づかされた。今までより高い意識で作業を監督していく。
- 法令やタンクローリー側のセンサーなど、知っているようできちんと理解していないところが多かった。
- 法令について初めて詳しく知ったことが多かった。
- 今までしていないこと、知らないことが多くあった。
- SSの安全対策設備について理解ができた。
- 実際の事故事例も示されたので危険性をより深く理解することができた。
- 事故事例は人ごとでなく、どこでもあり得る話だと思った。
- 色々な事故事例を見られると参考になる。
- 緊急時の対応が参考になった。
- 非常時に対応できるかは難しいが、基本的な対応は理解できたので維持していきたい。
- 危険を再確認でき、荷卸しまでの行程を確認できたことで現場で注意すべきことがよく分かった。
- 今回の研修内容を持ち帰り、従業員にも徹底させたいと思う。
- 色んなスタッフに周知できるようになればいいと思った。
- 常に災害が起きてしまった最悪な状況を考えて防災設備の重要性をスタッフと共有していきたい。
- 危険物取扱者の資格を持っている全員が、この最低限の知識を持って運営できるように日々確認等を実施する。
- 日頃から安全に対する教育訓練等が大切であることについて再確認する機会となった。
- このような研修を定期的に受けることにより思い出す知識もあるので、今後も実施し欲しい。



研修会の状況